

チェロ公開レッスン
Cello Masterclass

桑田 歩

Ayumu Kuwata



【公開レッスン】

藤原 寛太 (高校 1 年)

Kanta Fujiwara

シヨスタコービッチ/

チェロ協奏曲第 1 番第 4 楽章

鈴木海市 (アーティストディプロマ 1 年)

Kaishi Suzuki

ハイドン/チェロ協奏曲第 2 番第 1 楽章

※順番は前後する場合があります。

2022年度 特別招聘演奏家シリーズ

1月24日(火)
17:00 開演 (16:30 開場)

東京音楽大学 中目黒キャンパス
TCM ホール

3歳よりヴァイオリンを、8歳よりチェロを父、桑田晶に手ほどきを受ける。東京音楽大学付属高校を卒業後、同大学専修コースを経て1987年ウィーン市立音楽院に留学。同地に於いてリサイタルを開催する他、オランダ放送テレビに出演。第10回霧島国際音楽祭にて特別賞を、イタリアのキジアーナ音楽院にて特別名誉賞を受賞。チェロを堀了介、J.パイロフ、D.シャフランの各氏に、室内楽をR.ブレンゴラ氏に師事。

1991年に帰国、群馬交響楽団の首席チェロ奏者に就任し、定期演奏会等にてソリストとしても活躍。1995年新星日本交響楽団(現東京フィル)の首席チェロ奏者に就任。新星日響の活動の傍ら、読売日響、東京都響、新日本フィル、東京交響楽団、大阪フィル等の客員首席奏者を度々務める。第68回日本音楽コンクール作曲部門の作品演奏で「委員会特別賞」を受賞。1999年NHK交響楽団のチェロ奏者に就任し、2020年3月までに次席奏者、及び首席代行奏者を務めた。録音は、室内楽奏者として、またN響のチェリスト4人で結成されたチェロ四重奏『ラ・クアルティエーナ』のメンバーとして、これまでに20枚近くのCDをリリースしているほか、ソロ小品集「ヴォカリーズ」、「メロディ」、ショパンの作品を収録した「ポーランドの歌」の3枚のアルバムもリリースし、いずれも高い評価を得ている。

これまでに、チョー・リャンリン、ジェームズ・エーネス、ペーター・シュミードル、ヴォルフラム・クリスト、アリス=沙良・オット、中村紘子、清水和音などの国内外の著名な演奏家と数多く共演する他、フィリップ・グラスのチェロ協奏曲を日本初演するなど、ソリストとしても活躍している。また指揮者としての活動も多く、近年では東京ジュニアオーケストラソサエティー、ブルーメン・フィル、浦安シティオーケストラ、品川区民管弦楽団などの指揮を務め、2014年に行われたブローカーフィルの公演ではアッペルモントの『カラズ』(オーケストラ版)の世界初演の指揮をしている。

現在、ラ・クアルティエーナのメンバー、昭和音楽大学客員教授、及び新日本フィルハーモニー交響楽団客員首席奏者を務める。

—入場無料—

要申し込み

お申込み (1月21日(土) 17:00 まで)

右のQRコードからお申込みいただけます。

※本学学生、教職員の方は事前のお申込みは不要です。

問い合わせ先：国際交流センター
study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp

